



借入利息の圧縮効果①(1986年度の条件による試算)

- 特定都市鉄道整備積立金制度を活用することにより、工事費の一部を運賃を通じて利用者から事前に徴収することが可能となり、調達する借入金の額が圧縮されるため、借入利息が圧縮される。
- さらに、租税特別措置法の特例 (※) により、当該運賃収入を含む積立金相当額 (準備金) に対する 工事期間中の法人税負担を供用開始後に繰り延べる ことにより、調達する借入金の額及び借入利息の負担がさらに圧縮される。

(※) 平成17年に租税特別措置法が改正され、準備金に対する非課税措置が廃止された。

① 特定都市鉄道整備積立金制度なし

特定都市鉄道整備積立金制度なし (工事費全額借入)	積み立て期間 (工事期間)										10年間 累計	取崩期間 (開業)										20年間 累計				
	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目		11年目	12年目	13年目	14年目	15年目	16年目	17年目	18年目	19年目	20年目					
営業収益																										
運賃改定による増収額 (①)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	500
営業費																										
経費 (②)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	170	
減価償却費 (③)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	250	
特別利益																										
特定都市鉄道整備準備金取崩額 (④)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特別損失																										
特定都市鉄道整備準備金 (⑤)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法人税課税対象所得 (⑥=①-②-③+④-⑤)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法人税 (⑦=⑥×0.5292)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	80
借入金													4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	40
各事業年度における残債 (⑧)	1,000	1,000	1,000	900	800	700	600	500	400	300	-	200	100	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
残債に対する借入利息 (⑨)	65	65	65	59	52	46	39	33	26	20	470	13	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	490
工事費 (⑩)	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	1,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,000
特定都市鉄道整備準備金 (⑪)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-

工事費1,000億円全額を借り入れ

(注) ①の増収額は11年目～20年目の10年間で工事費の50%にあたる500億円を回収することを想定。

② 特定都市鉄道整備積立金制度あり (非課税措置なし)

特定都市鉄道整備積立金制度あり (非課税措置なし)	積み立て期間 (工事期間)										10年間 累計	取崩期間 (開業)										20年間 累計				
	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目		11年目	12年目	13年目	14年目	15年目	16年目	17年目	18年目	19年目	20年目					
営業収益																										
運賃改定による増収額 (①)	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	500	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500
営業費																										
経費 (②)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	170	
減価償却費 (③)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	250	
特別利益																										
特定都市鉄道整備準備金取崩額 (④)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	500	
特別損失																										
特定都市鉄道整備準備金繰入額 (⑤)	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	500	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500	
法人税課税対象所得 (⑥=①-②-③)	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	500	△42	△42	△42	△42	△42	△42	△42	△42	△42	△42	△42	△42	△42	△42	80
法人税 (⑦=⑥×0.5292)	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	260	△22	△22	△22	△22	△22	△22	△22	△22	△22	△22	△22	△22	△22	△22	40
借入金																										
各事業年度における残債 (⑧)	760	760	760	684	608	532	456	380	304	228	-	152	76	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
残債に対する借入利息 (⑨)	49	49	49	44	40	35	30	25	20	15	356	10	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	371
工事費 (⑩)	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	1,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,000
特定都市鉄道整備準備金 (⑪)	50	100	150	200	250	300	350	400	450	500	-	450	400	350	300	250	200	150	100	50	0	0	0	0	0	-

工事費1,000億円のうち500億円は加算収入を充当し、残る500億円と工事期間中の法人税相当額260億円を合わせた760億円を借り入れ

借入金を低く抑えることができるため、借入利息の負担が軽減

準備金繰入額と準備金取崩額は、準備金に対する非課税措置が無い場合、法人税の課税対象所得には算入されない。

③ 特定都市鉄道整備積立金制度あり (非課税措置あり)

特定都市鉄道整備積立金制度あり (非課税措置あり)	積み立て期間 (工事期間)										10年間 累計	取崩期間 (開業)										20年間 累計				
	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目		11年目	12年目	13年目	14年目	15年目	16年目	17年目	18年目	19年目	20年目					
営業収益																										
運賃改定による増収額 (①)	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	500	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500
営業費																										
経費 (②)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	170	
減価償却費 (③)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	250	
特別利益																										
特定都市鉄道整備準備金取崩額 (④)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	500	
特別損失																										
特定都市鉄道整備準備金 (⑤)	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	500	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500	
法人税課税対象所得 (⑥=①-②-③+④-⑤)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	80
法人税 (⑦=⑥×0.5292)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	40
借入金																										
各事業年度における残債 (⑧)	500	500	500	450	400	350	300	250	200	150	-	100	50	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
残債に対する借入利息 (⑨)	25	25	25	20	16	12	8	4	0	0	236	7	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	246
工事費 (⑩)	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	1,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,000
特定都市鉄道整備準備金 (⑪)	50	100	150	200	250	300	350	400	450	500	-	450	400	350	300	250	200	150	100	50	0	0	0	0	0	-

工事期間中に法人税が発生しないため500億円を借り入れ

■ 試算の前提条件

- ・工事費：1,000億円
- ・積立期間・取崩期間：共に10年
- ・積立限度額：総事業費の50%
- ・借入金：工事費から加算収入を除いた額及び工事期間中の法人税額と同額の借入を想定

- ・減価償却費：25億円 (40年100%償却)
- ・借入金利：6.500% (みずほ銀行 1986年度の長期プライムレート)
- ・償還方法：3年据置10年元本均等償還
- ・法人税率：52.92%

借入利息の圧縮効果②(2017年度の条件による試算)

- 特定都市鉄道整備積立金制度を活用することにより、**工事費の一部を運賃を通じて利用者から事前に徴収することが可能となり、調達する借入金の額が圧縮されるため、借入利息が圧縮される。**
- さらに、租税特別措置法の特例^(※)により、当該運賃収入を含む積立金相当額(準備金)に対する**工事期間中の法人税負担を供用開始後に繰り延べることにより、調達する借入金の額及び借入利息の負担がさらに圧縮される。**

① 特定都市鉄道整備積立金制度なし

(※) 平成17年に租税特別措置法が改正され、準備金に対する非課税措置が廃止された。

特定都市鉄道整備積立金制度なし(工事費全額借入)	積み立て期間(工事期間)										10年間 累計	取崩期間(開業)										20年間 累計
	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目		11年目	12年目	13年目	14年目	15年目	16年目	17年目	18年目	19年目	20年目	
営業収益																					500	
運賃改定による増収額(①)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	500
営業費																					0	
経費(②)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	170
減価償却費(③)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	250
特別利益																					0	
特定都市鉄道整備準備金取崩額(④)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特別損失																					0	
特定都市鉄道整備準備金(⑤)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法人税課税対象所得(⑥)=(①)-(②)-(③)+(④)-(⑤)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法人税(⑦)=(⑥)×0.5292)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	80
借入金																					20	
各事業年度における残債(⑧)	1,000	1,000	1,000	900	800	700	600	500	400	300	200	100	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
残債に対する借入利息(⑨)	10	10	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	75
工事費(⑩)	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	1,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,000
特定都市鉄道整備準備金(⑪)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

工事費1,000億円全額を借り入れ

(注) ①の増収額は11年目~20年目の10年間で工事費の50%にあたる500億円を回収することを想定。

② 特定都市鉄道整備積立金制度あり(非課税措置なし)

20年間で支払う法人税額は非課税措置がない場合と同額

特定都市鉄道整備積立金制度あり(非課税措置なし)	積み立て期間(工事期間)										10年間 累計	取崩期間(開業)										20年間 累計
	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目		11年目	12年目	13年目	14年目	15年目	16年目	17年目	18年目	19年目	20年目	
営業収益																					500	
運賃改定による増収額(①)	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	500	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500
営業費																					0	
経費(②)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	170
減価償却費(③)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	250
特別利益																					0	
特定都市鉄道整備準備金取崩額(④)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	500
特別損失																					0	
特定都市鉄道整備準備金(⑤)	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	500	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500
法人税課税対象所得(⑥)=(①)-(②)-(③)	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	500	△42	△42	△42	△42	△42	△42	△42	△42	△42	△42	80
法人税(⑦)=(⑥)×0.5292)	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	150	△13	△13	△13	△13	△13	△13	△13	△13	△13	△13	20
借入金																					20	
各事業年度における残債(⑧)	650	650	650	585	520	455	390	325	260	195	130	65	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
残債に対する借入利息(⑨)	7	7	7	6	5	4	3	2	1	0	49	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	51
工事費(⑩)	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	1,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,000
特定都市鉄道整備準備金(⑪)	50	100	150	200	250	300	350	400	450	500	-	450	400	350	300	250	200	150	100	50	0	-

工事費1,000億円のうち500億円は加算収入を充当し、残る500億円と工事期間中の法人税相当額150億円を合わせた650億円を借り入れ

借入金を低く抑えることができるため、借入利息の負担が軽減

準備金繰入額と準備金取崩額は、準備金に対する非課税措置が無い場合、法人税の課税対象所得には算入されない。

③ 特定都市鉄道整備積立金制度あり(非課税措置あり)

特定都市鉄道整備積立金制度あり(非課税措置あり)	積み立て期間(工事期間)										10年間 累計	取崩期間(開業)										20年間 累計
	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目		11年目	12年目	13年目	14年目	15年目	16年目	17年目	18年目	19年目	20年目	
営業収益																					500	
運賃改定による増収額(①)	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	500	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500
営業費																					0	
経費(②)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	170
減価償却費(③)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	250
特別利益																					0	
特定都市鉄道整備準備金取崩額(④)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	500
特別損失																					0	
特定都市鉄道整備準備金(⑤)	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	500	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500
法人税課税対象所得(⑥)=(①)-(②)-(③)+(④)-(⑤)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	80
法人税(⑦)=(⑥)×0.5292)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	20
借入金																					0	
各事業年度における残債(⑧)	500	500	500	450	400	350	300	250	200	150	100	50	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
残債に対する借入利息(⑨)	5	5	5	4	3	2	1	0	0	0	25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	40
工事費(⑩)	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	1,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,000
特定都市鉄道整備準備金(⑪)	50	100	150	200	250	300	350	400	450	500	-	450	400	350	300	250	200	150	100	50	0	-

工事期間中に法人税が発生しないため500億円を借り入れ

■ 試算の前提条件

- ・工事費：1,000億円
- ・積立期間・取崩期間：共に10年
- ・積立限度額：総事業費の50%
- ・借入金：工事費から加算収入を除いた額及び工事期間中の法人税額と同額の借入を想定

- ・減価償却費：25億円(40年100%償却)
- ・借入金利：1.000% (みずほ銀行 直近の長期プライムレート)
- ・償還方法：3年据置10年元本均等償還
- ・法人税率：30%